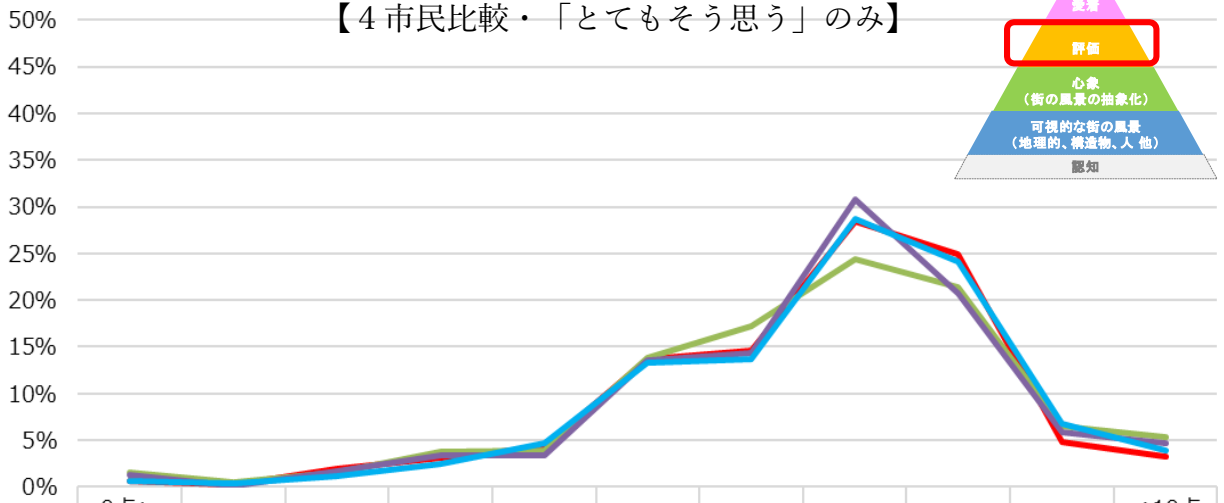
５．都市ブランド･アプローチ　５）街評価＝住みやすさ　①４市民比較

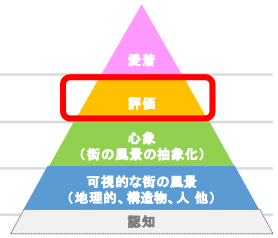
現住地の「住みやすさ」の評価をみると、町田市民を含む４市民ともに0～10点の中で「７点」ピークとする評価分布（平均6.6点前後）を形成している。４市民の間で、その傾向に顕著な差異はみられない。

- 「（現住地の各市の）住みやすさ」評価（０～10点）をみると、町田市を含む４市民のいずれにおいても「７点」の割合が最も高く、評価点の分布の傾向に差異はみられない。
- ただし、その「7点」の比率を細かくみると、４市民の中では所沢市民が最も高く、反対に八王子市民が最も低い。
- なお、平均得点をみると、最も高いのは柏市民の6.72点である。町田市民では6.60と、八王子市民よりも僅差で高いものの、所沢市民よりも僅差で低い。

Q10　それでは、あなたからみて○○市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。０点から10点の中でお答えください。 ※○○市：町田市、八王子市、所沢市、柏市

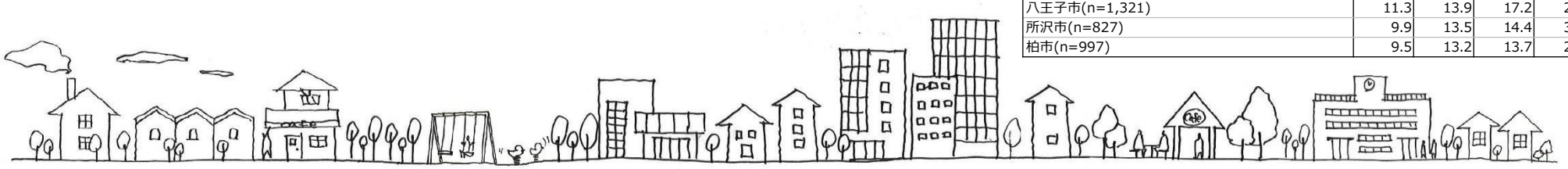
【４市民比較・「とてもそう思う」のみ】





	0点← 住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点 住みやすい
町田市(n=996)	0.7	0.3	2.0	3.1	4.3	13.7	14.6	28.4	24.9	4.8	3.2
八王子市(n=1,321)	1.5	0.5	1.6	3.8	3.9	13.9	17.2	24.4	21.4	6.5	5.4
所沢市(n=827)	1.3	0.1	1.7	3.4	3.4	13.5	14.4	30.8	20.8	5.8	4.7
柏市(n=997)	0.7	0.4	1.2	2.5	4.7	13.2	13.7	28.7	24.2	6.7	3.9

	０～４点	５点	６点	７点	８～10点	平均値
4市合計(n=4,141)	10.4	13.6	15.2	27.7	33.2	6.63
町田市(n=996)	10.4	13.7	14.6	28.4	32.9	6.60
八王子市(n=1,321)	11.3	13.9	17.2	24.4	33.3	6.57
所沢市(n=827)	9.9	13.5	14.4	30.8	31.3	6.63
柏市(n=997)	9.5	13.2	13.7	28.7	34.8	6.72



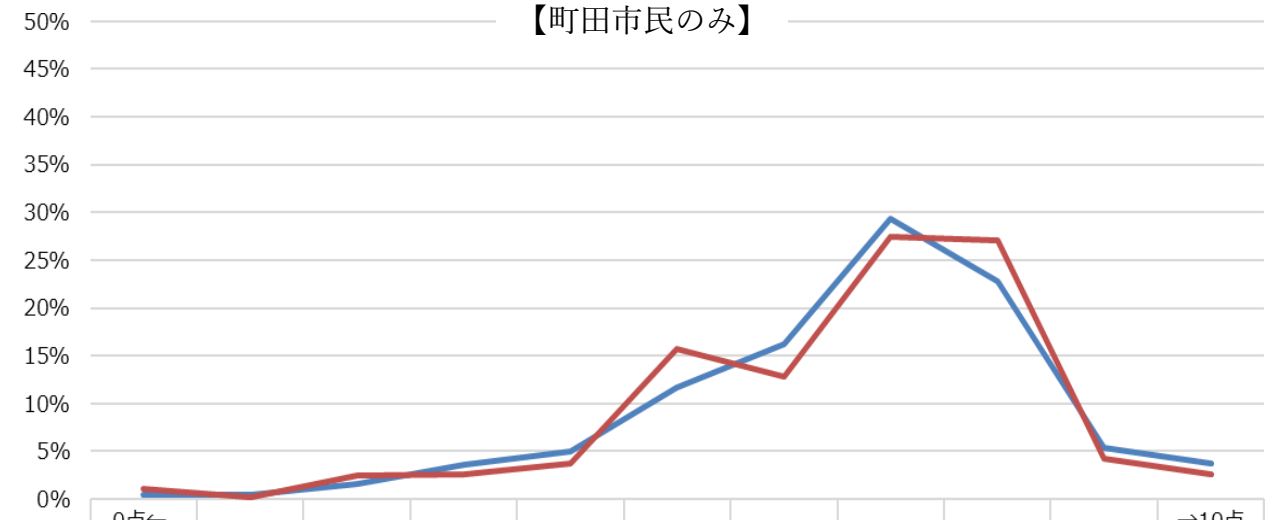
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　5）街評価＝住みやすさ　②町田市民のみ･属性分析（性別）

町田市民における「（町田市の）住みやすさ」評価では、男性の“ひと山”型、女性の“ふた山”型といったように、評価（得点）の分布が異なる。

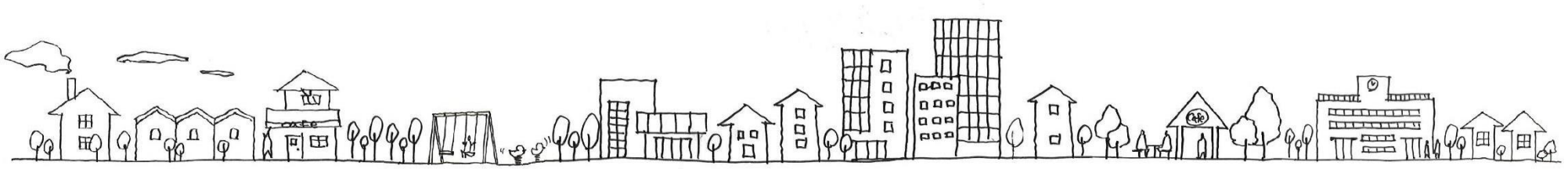
- 町田市民における「（町田市の）住みやすさ」評価（0～10点）について性別でみると、顕著な差異ではないが、「5点」と「8点」の評価において女性の方が男性をやや上回る分布をしている。これにより、男性が7点をピークに“ひと山”を成しているのに対して、女性では“ふた山”の分布を形成している。
- なお、「住みやすさ」の平均得点をみると、男性（6.63）の方が女性（6.57）よりも高い。

Q10　それでは、あなたからみて町田市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。0点から10点の中でお答えください。



	0点← 住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点 住みやすい
男性(n=505)	0.4	0.4	1.6	3.6	5.0	11.7	16.2	29.3	22.8	5.3	3.8
女性(n=491)	1.0	0.2	2.4	2.6	3.7	15.7	12.8	27.5	27.1	4.3	2.6

	0～4点	5点	6点	7点	8～10点	平均値
男性(n=505)	10.9	11.7	16.2	29.3	31.9	6.63
女性(n=491)	10.0	15.7	12.8	27.5	34.0	6.57



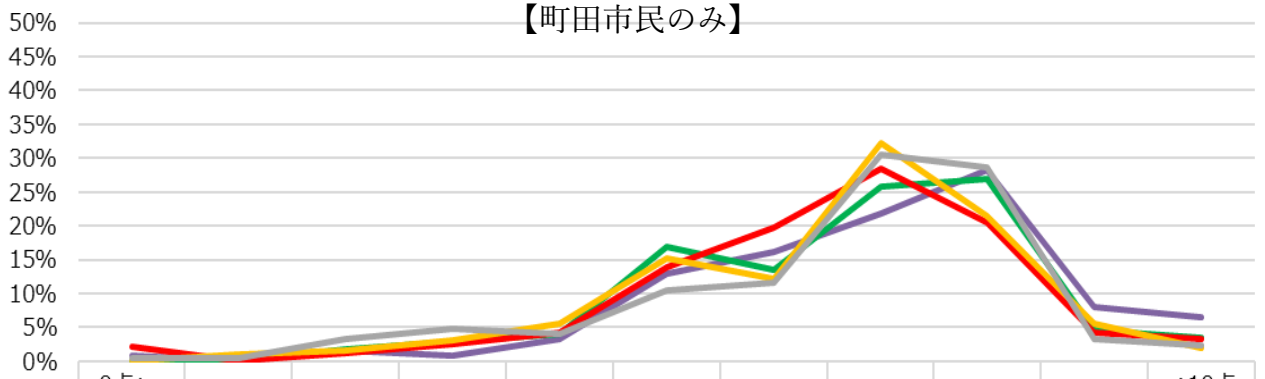
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　5）街評価＝住みやすさ　②町田市民のみ･属性分析（年代別）

町田市民における「（町田市の）住みやすさ」の評価をみると、20代が最も高く、40代が最も低い。

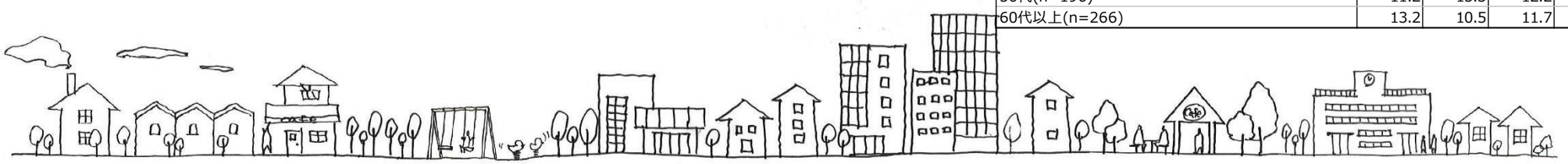
- 町田市民における「（町田市の）住みやすさ」評価（ 0～10点）について年代別でみると、「7点」を中心に前後の「５～８点」で年代差がみられる。
- 20代は、「8点」をピークとする“ひと山”型の分布をとっている。同様に、40代と60代以上は「7点」をピークとする“ひと山”型の分布をとっている。
- 一方、30代では「５点」と「８点」、50代では「５点」と「７点」をそれぞれピークとする“ふた山”型の分布をとっている。
- この中で、特に「7点」では年代が高い人ほどその割合が高くなる傾向がみられる。「８点」では40～50代の割合が30代以下と60代以上と比べて低い傾向を示している。
- 「住みやすさ」の平均得点を年代別にみると、40代をボトム（底）として、年代が若くなる、あるいは高くなるほど評価が上がる傾向がみられる。なお、20～30代の平均得点は、40代以上よりも高い。

Q10　それでは、あなたからみて町田市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。０点から10点の中でお答えください。



	0点← 住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点 住みやすい
20代(n=124)	0.8	0.0	1.6	0.8	3.2	12.9	16.1	21.8	28.2	8.1	6.5
30代(n=171)	0.0	0.0	1.8	2.9	4.1	17.0	13.5	25.7	26.9	4.7	3.5
40代(n=239)	2.1	0.0	1.3	2.5	4.2	13.8	19.7	28.5	20.5	4.2	3.3
50代(n=196)	0.0	1.0	1.5	3.1	5.6	15.3	12.2	32.1	21.4	5.6	2.0
60代以上(n=266)	0.4	0.4	3.4	4.9	4.1	10.5	11.7	30.5	28.6	3.4	2.3

	0～4点	5点	6点	7点	8～10点	平均値
20代(n=124)	6.5	12.9	16.1	21.8	42.7	6.95
30代(n=171)	8.8	17.0	13.5	25.7	35.1	6.67
40代(n=239)	10.0	13.8	19.7	28.5	28.0	6.48
50代(n=196)	11.2	15.3	12.2	32.1	29.1	6.53
60代以上(n=266)	13.2	10.5	11.7	30.5	34.2	6.56



Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド・アプローチ　5）街評価＝住みやすさ　②町田市民のみ・属性分析（末子学齢別）

町田市民のうち、末子が未就学児の子育て層は他のライフステージの人よりも、町田市を「住みやすい」と評価。

- 町田市民における「（町田市の）住みやすさ」評価（0～10点）をみると、「7点」を中心に前後の「3～8点」においてライフステージ（末子の学齢）別による差異がみられる。
- サンプルサイズが小さい「末子が大学生、短大生、専門学生、予備校生等」というステージにある人を除くと、概ね「7～8点」をピークとする“ひと山”型の分布をとっており、その中でライフステージによる特徴的な傾向はみられない。
- なお、子どもがいる人に着目して平均得点をみると、「末子が中学生以上の学生がいる」をボトム（底）に、「末子が未就学児＝若年層」または「末子が社会人（成人）＝高齢者」に向かうほど評価が高くなる傾向がみられる。

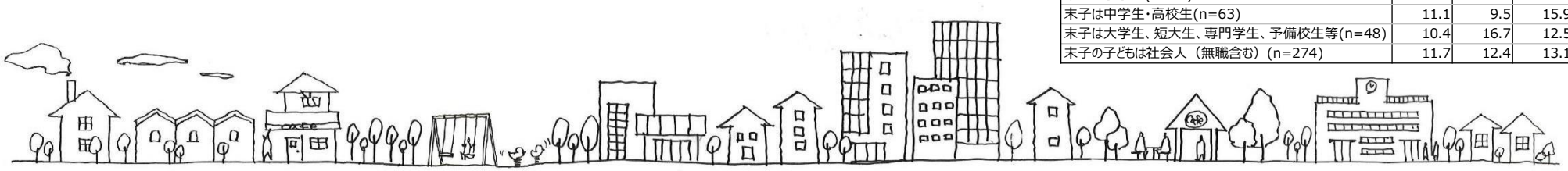
Q10　それでは、あなたからみて町田市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。0点から10点の中でお答えください。

【町田市民のみ】

	0点←住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点住みやすい
末子は未就学児(n=115)	0.0	0.0	1.7	2.6	5.2	11.3	12.2	29.6	24.3	8.7	4.3
末子は小学生(n=76)	0.0	0.0	2.6	0.0	5.3	14.5	18.4	27.6	26.3	2.6	2.6
末子は中学生・高校生(n=63)	4.8	0.0	3.2	3.2	0.0	9.5	15.9	28.6	28.6	4.8	1.6
末子は大学生、短大生、専門学生、予備校生等(n=48)	0.0	0.0	0.0	8.3	2.1	16.7	12.5	39.6	14.6	6.3	0.0
末子の子どもは社会人（無職含む）(n=274)	0.4	0.4	1.8	4.7	4.4	12.4	13.1	30.7	25.5	3.6	2.9

※上図では、見やすさを考慮して「子どもはいない（n=420）」を省略している。

	0～4点	5点	6点	7点	8～10点	平均値
子どもはいない(n=420)	10.2	15.2	15.5	25.5	33.6	6.59
末子は未就学児(n=115)	9.6	11.3	12.2	29.6	37.4	6.85
末子は小学生(n=76)	7.9	14.5	18.4	27.6	31.6	6.63
末子は中学生・高校生(n=63)	11.1	9.5	15.9	28.6	34.9	6.46
末子は大学生、短大生、専門学生、予備校生等(n=48)	10.4	16.7	12.5	39.6	20.8	6.42
末子の子どもは社会人（無職含む）(n=274)	11.7	12.4	13.1	30.7	32.1	6.58



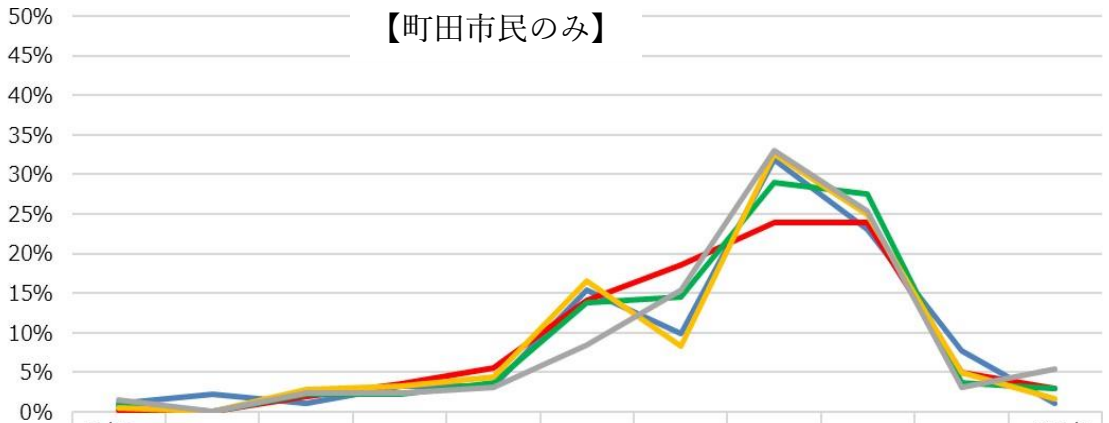
Copyright Machida City. All rights reserved.

５．都市ブランド・アプローチ　５）街評価＝住みやすさ　②町田市民のみ・属性分析（職業別）

町田市民の職業により、町田市の「住みやすさ」の評価（点数の分布）が異なる。

- 町田市民における「（町田市の）住みやすさ」評価（０～10点）をみると、職業（サンプルサイズが小さい「学生」を除く）により評価が異なる傾向がある。
- 「勤め人」や「パート・アルバイト」は「７～８点」をピークに、「無職」は「7点」をピークに、それぞれ“ひと山”型の分布をとっている。
- 一方、「自営・経営者・自由業」「専業主婦」では、「５点」と「７点」にピークを有する“ふた山”型の分布をとっている。
- 以上の職業別の傾向から、「６点」を中心に前後の「５～７点」で職業による差異がみられる。
- なお、平均得点をみると、無職、パート・アルバイトの人における「住みやすさ」の評価が高く、「自営・経営者・自由業」「勤め人」「専業主婦」の評価は相対的に低い傾向となっている。

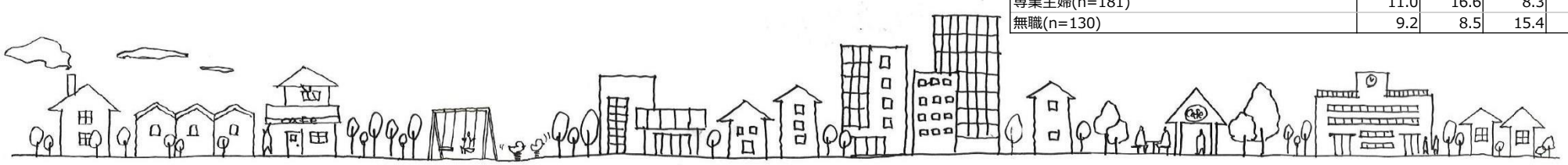
Q10　それでは、あなたからみて町田市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。０点から10点の中でお答えください。



	0点← 住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点 住みやすい
自営・経営者・自由業(n=91)	1.1	2.2	1.1	3.3	3.3	15.4	9.9	31.9	23.1	7.7	1.1
勤め人(n=397)	0.3	0.0	2.0	3.5	5.5	14.1	18.6	23.9	23.9	5.0	3.0
パート・アルバイト(n=138)	0.7	0.0	2.2	2.2	3.6	13.8	14.5	29.0	27.5	3.6	2.9
専業主婦(n=181)	0.6	0.0	2.8	3.3	4.4	16.6	8.3	32.6	24.9	5.0	1.7
無職(n=130)	1.5	0.0	2.3	2.3	3.1	8.5	15.4	33.1	25.4	3.1	5.4

※上図では、サンプルサイズが小さいことから「学生（n=32）」を省略している。

	0～4点	5点	6点	7点	8～10点	平均値
自営・経営者・自由業(n=91)	11.0	15.4	9.9	31.9	31.9	6.52
勤め人(n=397)	11.3	14.1	18.6	23.9	32.0	6.54
パート・アルバイト(n=138)	8.7	13.8	14.5	29.0	34.1	6.66
専業主婦(n=181)	11.0	16.6	8.3	32.6	31.5	6.54
無職(n=130)	9.2	8.5	15.4	33.1	33.8	6.75



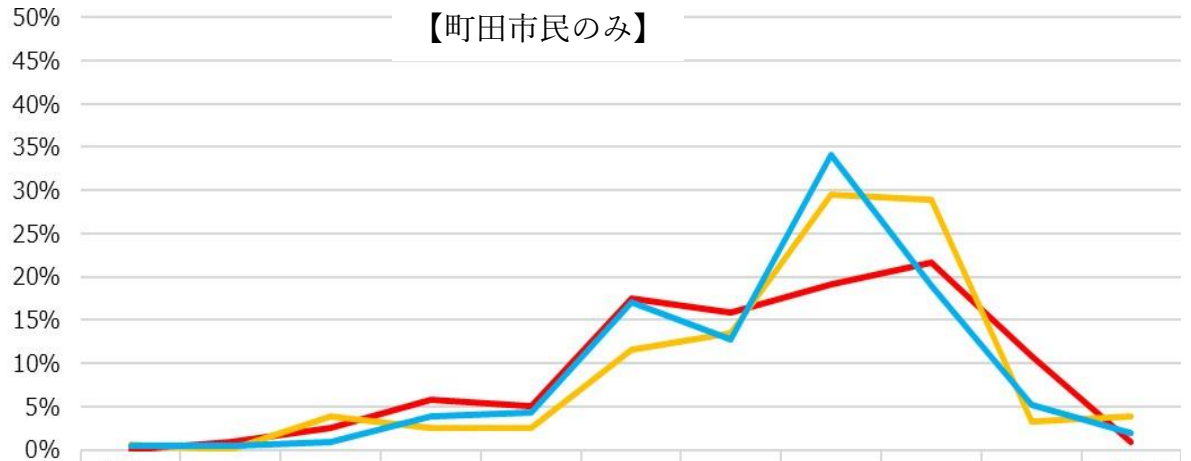
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド・アプローチ　5）街評価＝住みやすさ　②町田市民のみ・属性分析（夫婦就労状況別）

町田市民の家庭の就労状況により、「（町田市の）住みやすさ」の評価は異なる。

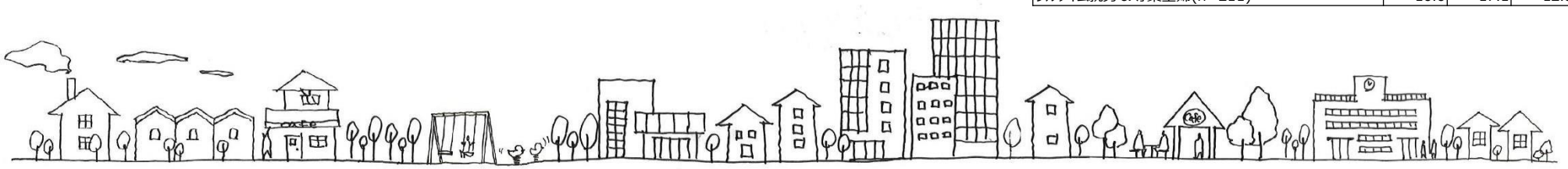
- 町田市民における「（町田市の）住みやすさ」評価（0～10点）をみると、家庭の就労状況（共稼ぎ世帯または専業主婦世帯）により評価が異なる傾向がある。
- 「フルタイム・共稼ぎ」は「５点」と「8点」に、「フルタイム就労＆専業主婦」は「５点」と「７点」にピークを有する“ふた山”型の分布をとっている。
- ただし、「フルタイム・共稼ぎ」の「５～８点」の間では顕著な差異がみられず、評価がこの得点の間で分散しているとみられる。
- 一方、「フルタイム&パート・アルバイトの共稼ぎ」では「７～８点」をピークとする“ひと山”型の分布をとっている。
- 評価得点別でみると、「７～８点」において家庭の就労状況別による差異が顕著である。「７点」では「フルタイム就労＆専業主婦」の割合が最も高く、「8点」では「フルタイム&パート・アルバイトの共稼ぎ」の割合が最も高い。
- なお、平均得点をみても、　「フルタイム&パート・アルバイトの共稼ぎ」が6.69と最も高く、反対に「フルタイム・共稼ぎ」は6.39と低い。

Q10　それでは、あなたからみて町田市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。０点から10点の中でお答えください。



	0点←住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点住みやすい
フルタイム・共稼ぎ(n=120)	0.0	0.8	2.5	5.8	5.0	17.5	15.8	19.2	21.7	10.8	0.8
フルタイム＆パートタイム・アルバイト共稼ぎ(n=156)	0.6	0.0	3.8	2.6	2.6	11.5	13.5	29.5	28.8	3.2	3.8
フルタイム就労＆専業主婦(n=211)	0.5	0.5	0.9	3.8	4.3	17.1	12.8	34.1	19.0	5.2	1.9

	0～4点	5点	6点	7点	8～10点	平均値
フルタイム・共稼ぎ(n=120)	14.2	17.5	15.8	19.2	33.3	6.39
フルタイム＆パートタイム・アルバイト共稼ぎ(n=156)	9.6	11.5	13.5	29.5	35.9	6.69
フルタイム就労＆専業主婦(n=211)	10.0	17.1	12.8	34.1	26.1	6.49



Copyright Machida City. All rights reserved.

５．都市ブランド・アプローチ　５）街評価＝住みやすさ　③町田市民のみ・ライフスタイル別分析

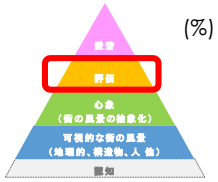
町田市民のライフスタイルにより、町田市の「住みやすさ」の評価は異なる。その差異性は、基本属性よりも明確。

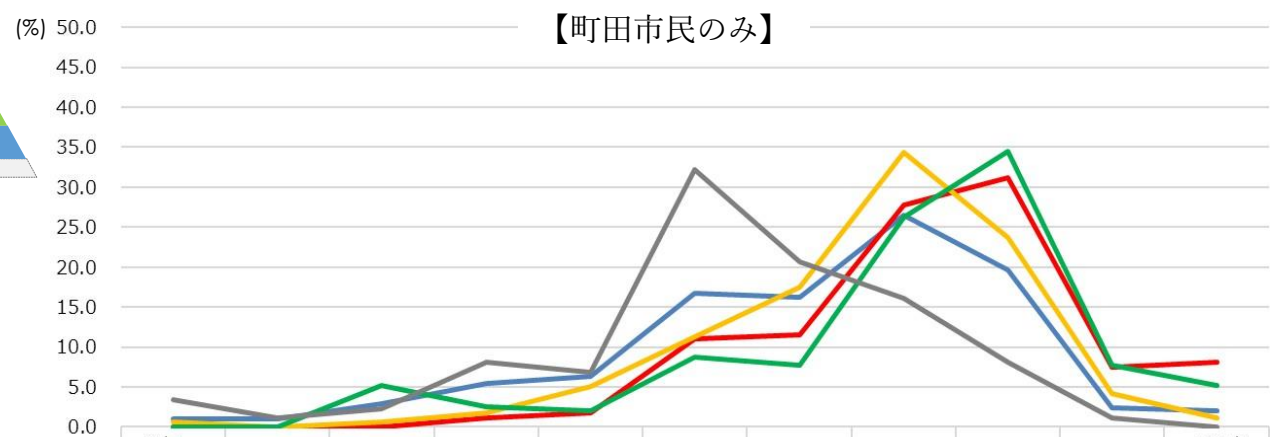
- 「自己超越欲求タイプ」と「自己満足タイプ」の「住みやすさ評価」は、「８点」をピークとする概ね“ひと山”型である。そして、この「８点」を評する人の割合は、他のライフスタイルの人よりも顕著に高い。
- 「消極的同調タイプ」と「身の丈安定タイプ」は、概ね「７点」をピークとする“ひと山”型である。このうち、「消極的同調タイプ」における「７点」の割合は、他のライフスタイルの人よりも顕著に高い。
- 一方、「その日暮らしタイプ」をみると、「５点」をピークとする“ひと山”型である。このライフスタイルの「５点」の割合は他のライフスタイルよりも顕著に高く、反対に「７～８点」の割合は低い。
- 以上から、「住みやすさ」評価では、基本属性よりも生活価値観ベースのライフスタイルによりその特徴が浮き彫りになっている。

■生活価値観によるタイプ分類

「身の丈安定タイプ」	：	社会貢献も考えず、周りの評判を気にせず、ただ安定志向なタイプ
「自己超越欲求タイプ」	：	周りの評判を強く気にしながら、社会貢献を意識する一方、とにかく自分の可能性を高めたい、というタイプ
「消極的同調タイプ」	：	突出した特徴はないものの、自身の安定さはさほど求めず、また周りの評判も若干気にしているタイプ
「自己満足タイプ」	：	とにかく自身の暮らしに安定を求めている。その中で、周りの評判を気にせず、ふだんから費用対効果を求めたり、自分の可能性を試しているタイプ。
「その日暮らしタイプ」	：	日々の暮らしに安定を求めず、自分の可能性を試すわけでもなく、費用対効果を意識するわけでもなく、社会貢献の意欲もなく、総じて日々を刹那に暮らすタイプ

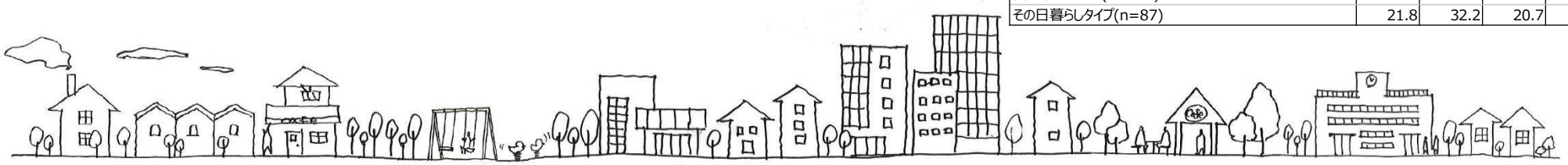
Q10　それでは、あなたからみて町田市の総合的な住みやすさを点数で表現すると、何点になりますか。０点から10点の中でお答えください。





	0点← 住みにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	→10点 住みやすい
身の丈安定タイプ(n=204)	1.0	1.0	2.9	5.4	6.4	16.7	16.2	26.5	19.6	2.5	2.0
自己超越欲求タイプ(n=173)	0.0	0.0	0.0	1.2	1.7	11.0	11.6	27.7	31.2	7.5	8.1
消極的同調タイプ(n=338)	0.6	0.0	0.6	1.8	5.0	11.2	17.5	34.3	23.7	4.1	1.2
自己満足タイプ(n=194)	0.0	0.0	5.2	2.6	2.1	8.8	7.7	26.3	34.5	7.7	5.2
その日暮らしタイプ(n=87)	3.4	1.1	2.3	8.0	6.9	32.2	20.7	16.1	8.0	1.1	0.0

	０～４点	５点	６点	７点	８～10点	平均値
身の丈安定タイプ(n=204)	16.7	16.7	16.2	26.5	24.0	6.13
自己超越欲求タイプ(n=173)	2.9	11.0	11.6	27.7	46.8	7.27
消極的同調タイプ(n=338)	8.0	11.2	17.5	34.3	29.0	6.66
自己満足タイプ(n=194)	9.8	8.8	7.7	26.3	47.4	6.98
その日暮らしタイプ(n=87)	21.8	32.2	20.7	16.1	9.2	5.30



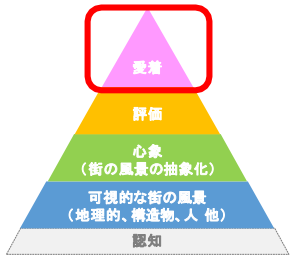
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　6）街への愛着＝継続居住意向　①４市民比較

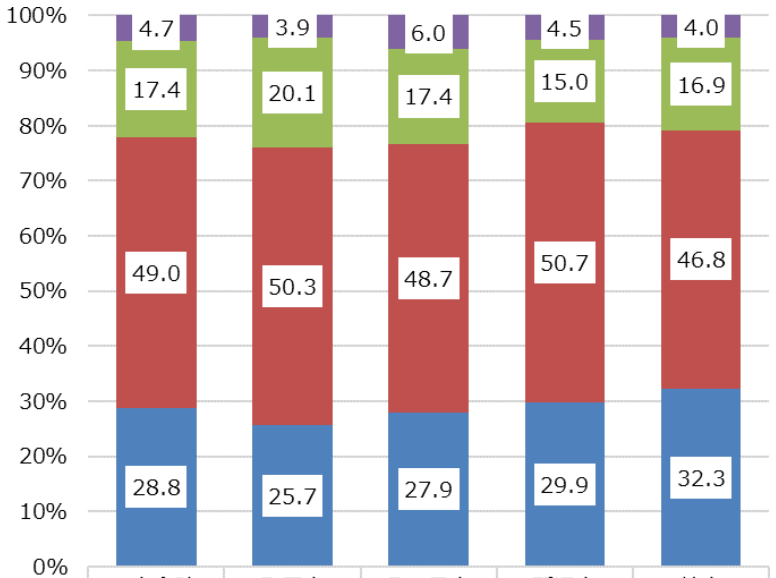
町田市民の「住み続けたい」という（強い）意思は、少なくとも柏市民や所沢市民よりも弱い。

- 現住地に「住み続けたい」という強い意思の割合をみると、柏市民が最も高く、町田市民が最も低い。
- ただし、「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、町田市を含む４市民ではいずれもおよそ8割となり、顕著な差異がみられない。

Q11　あなたは、現在お住まいの○○市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）
※○○市：町田市、八王子市、所沢市、柏市



【４市民比較】



	4市合計 (n=4,141)	町田市 (n=996)	八王子市 (n=1,321)	所沢市 (n=827)	柏市 (n=997)
移住したい	4.7	3.9	6.0	4.5	4.0
どちらかといえば移住したい	17.4	20.1	17.4	15.0	16.9
どちらかといえば住み続けたい	49.0	50.3	48.7	50.7	46.8
住み続けたい	28.8	25.7	27.9	29.9	32.3

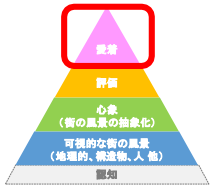
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　6）街への愛着＝継続居住意向　②町田市民のみ･属性分析（性別）

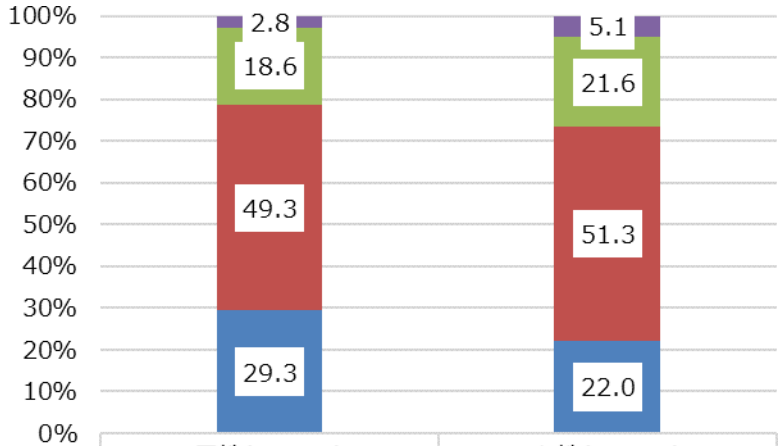
町田市民では、男性の方が女性よりも強い継続居住意向を有している。

- 町田市民における「（町田市に）住み続けたい」という強い意思については、男性の方が女性よりも有している。
- 「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、男性ではおよそ8割、女性ではおよそ7割と、やはり男性の方が女性よりも継続居住意向を有している。

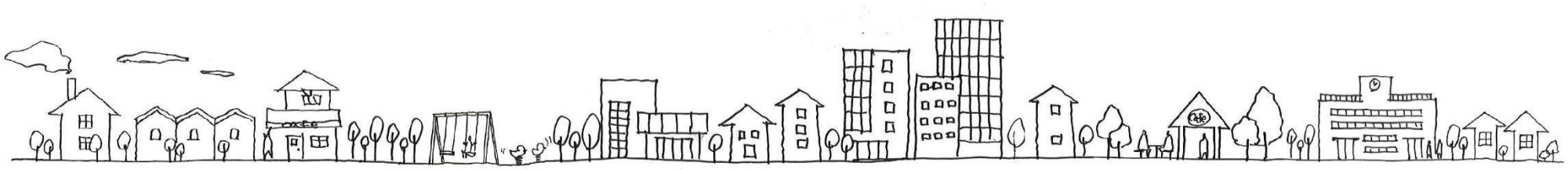
Q11　あなたは、現在お住まいの町田市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	男性(n=505)	女性(n=491)
移住したい	2.8	5.1
どちらかといえば移住したい	18.6	21.6
どちらかといえば住み続けたい	49.3	51.3
住み続けたい	29.3	22.0



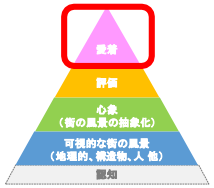
Copyright Machida City. All rights reserved.

５．都市ブランド･アプローチ　６）街への愛着＝継続居住意向　②町田市民のみ･属性分析（年代別）

町田市民では、60代以上の継続居住意向は他の年代よりも高い。

- 町田市民における「（町田市に）住み続けたい」という強い意思について年代別でみると、50代以下では25%前後であるのに対して、60代以上はおよそ３割と高い。
- 「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、少なくとも60代以上は20代と比べて居住意向を有しているが、年代による顕著な差異はみられない。

Q11　あなたは、現在お住まいの町田市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】

	20代 (n=124)	30代 (n=171)	40代 (n=239)	50代 (n=196)	60代以上 (n=266)
移住したい	3.2	4.7	2.9	4.6	4.1
どちらかといえば移住したい	23.4	18.7	23.0	20.4	16.5
どちらかといえば住み続けたい	52.4	49.7	51.5	51.0	48.1
住み続けたい	21.0	26.9	22.6	24.0	31.2

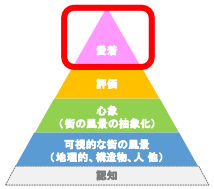
Copyright Machida City. All rights reserved.

５．都市ブランド･アプローチ　６）街への愛着＝継続居住意向　②町田市民のみ･属性分析（末子学齢別）

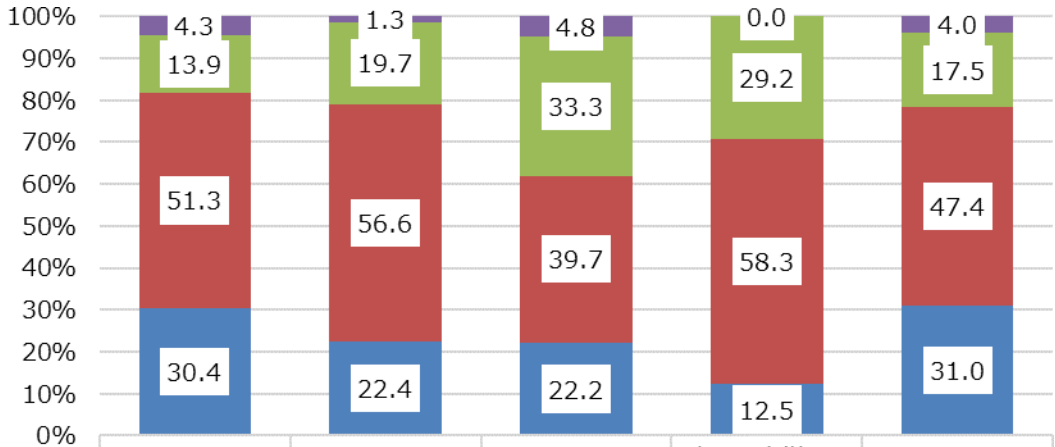
町田市民では、末子が未就学児または社会人のステージにある人では、継続居住意向が強い。

- 町田市民における「（町田市に）住み続けたい」という強い意思について、子どものいる人のライフステージ（末子の学齢）別でみると、「末子が未就学児」の人の「住み続けたい」はおよそ3割であるが、その後末子の成長とともに弱くなる傾向がある。
- ただし、「末子が社会人」（主に60代以上）に至ると、強い継続居住意向がみられる。
- 「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、「末子が中学･高校生」というステージをボトム（底）にして、その前後のライフステージでは継続居住意向が高い（７～８割）という傾向がみられる。

Q11　あなたは、現在お住まいの町田市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）

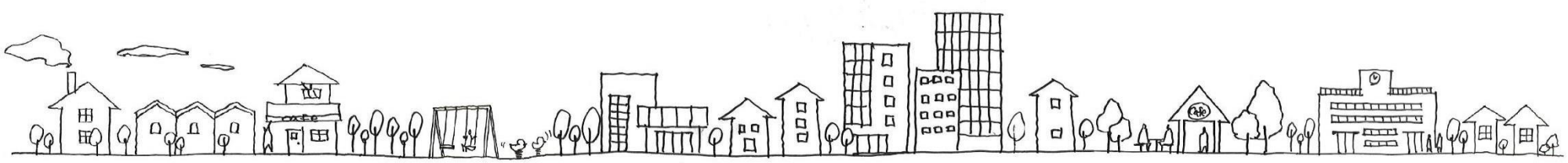


【町田市民のみ】



	末子は未就学児(n=115)	末子は小学生(n=76)	末子は中学生･高校生(n=63)	末子は大学生、短大生、専門学生、予備校生等(n=48)	末子の子どもは社会人（無職含む）(n=274)
移住したい	4.3	1.3	4.8	0.0	4.0
どちらかといえば移住したい	13.9	19.7	33.3	29.2	17.5
どちらかといえば住み続けたい	51.3	56.6	39.7	58.3	47.4
住み続けたい	30.4	22.4	22.2	12.5	31.0

※上図では、見やすさを考慮して「子どもはいない（n=420）」を省略している。



Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド・アプローチ　6）街への愛着＝継続居住意向　②町田市民のみ・属性分析（夫婦就労状況別）

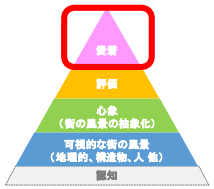
町田市民では、「フルタイム&パート・アルバイトの共稼ぎ」世帯の人では継続居住意向が特に強く、「フルタイム共稼ぎ」世帯の人は継続居住意向が相対的に低い。

- 町田市民における「（町田市に）住み続けたい」という強い意思について、家庭の就労状況（共稼ぎ世帯または専業主婦世帯）別にみると、「フルタイム・共稼ぎ」と「フルタイム&パート・アルバイトの共稼ぎ」との間で差異はほとんどみられないが、これら共稼ぎ世帯と「フルタイム就労＆専業主婦」との間では顕著な差異がみられる。
- 「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、「フルタイム&パート・アルバイトの共稼ぎ」と「フルタイム就労＆専業主婦」ではおよそ８割であるのに対して、「フルタイム・共稼ぎ」では65%と顕著に低い。「フルタイム・共稼ぎ」は他の家庭の就労状況の人よりも平均世帯年収が高いことから、夫婦にとって通勤の上で町田市よりも便利な他の地域に転居（流出）する可能性があると思われる。

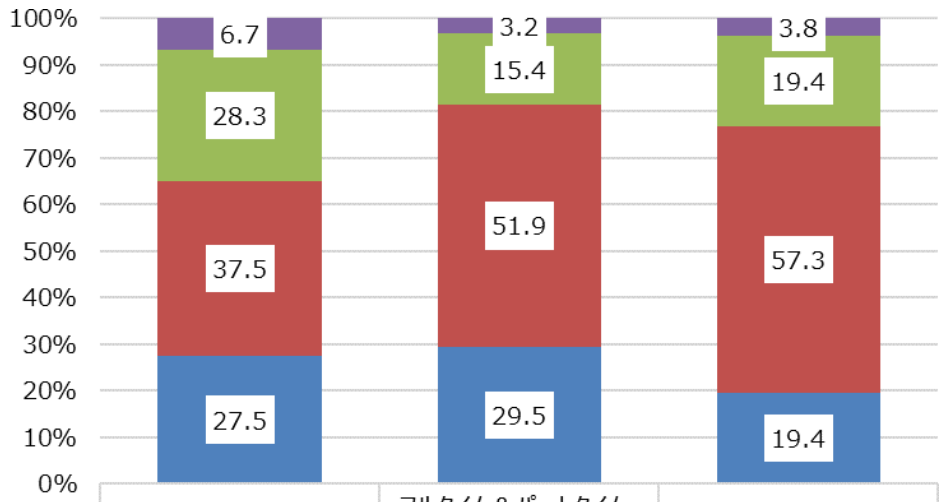
（単位:万円）

	平均世帯年収
フルタイム・共稼ぎ	658.3
フルタイム＆パートタイム・アルバイト共稼ぎ	588.1
フルタイム就労＆専業主婦	530.6

Q11　あなたは、現在お住まいの町田市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	フルタイム・共稼ぎ (n=120)	フルタイム＆パートタイム・アルバイト共稼ぎ (n=156)	フルタイム就労＆専業主婦(n=211)
移住したい	6.7	3.2	3.8
どちらかといえば移住したい	28.3	15.4	19.4
どちらかといえば住み続けたい	37.5	51.9	57.3
住み続けたい	27.5	29.5	19.4

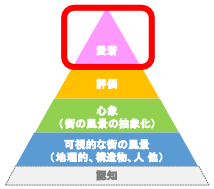
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　6）街への愛着＝継続居住意向　②町田市民のみ･属性分析（通勤通学時間別）

町田市民における継続居住意向にとって、10分超から60分未満の通勤通学時間が程よい職（学）住近接の時間距離。

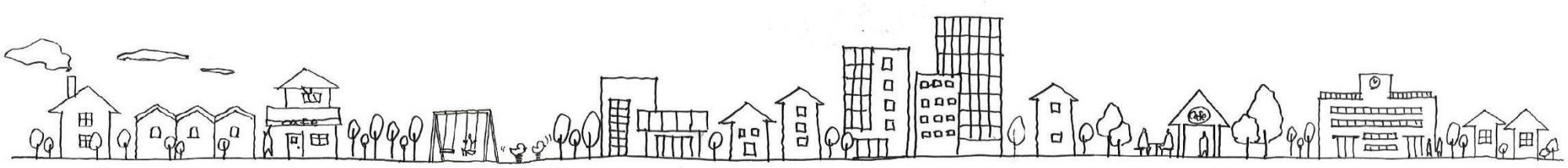
- 町田市民における「（町田市に）住み続けたい」という強い意思においては、通勤通学時間の長さによる顕著な差異はみられない。
- 「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、通勤通学時間が10分超～60分未満までの人では、およそ８割の人が継続居住意向を有している。ただし、60分超になると継続居住意向が弱くなっている。
- 一方、通勤通学時間が10分以内の人も、80分以上の人同様の継続居住意向の水準になっている。

Q11　あなたは、現在お住まいの町田市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】

	10分以内 (n=103)	30分未満 (n=139)	50分未満 (n=110)	60分未満 (n=73)	80分未満 (n=115)	80分以上 (n=118)
移住したい	4.9	3.6	1.8	1.4	6.1	1.7
どちらかといえば移住したい	25.2	18.7	20.9	19.2	19.1	30.5
どちらかといえば住み続けたい	49.5	50.4	54.5	54.8	51.3	41.5
住み続けたい	20.4	27.3	22.7	24.7	23.5	26.3



Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　6）街への愛着＝継続居住意向　③町田市民のみ･ライフスタイル別分析

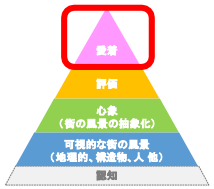
一部のライフスタイルを除き、概ね７～８割の町田市民が当地での継続居住を望んでいる。

- 「自己超越欲求タイプ」と「自己満足タイプ」の35%前後が「住み続けたい」という強い継続居住意向を有している。「住み続けたい」に「どちらかといえば住み続けたい」を加えると、これらのライフスタイルのおよそ８割が、町田市での継続居住の意向を有している。
- 「その日暮らしタイプ」を除く他のライフスタイルの人では、概ね７～８割が町田市での継続居住の意向を有する。ただし、「その日暮らしタイプ」の人でも、およそ６割は当地に継続居住を望んでいる。

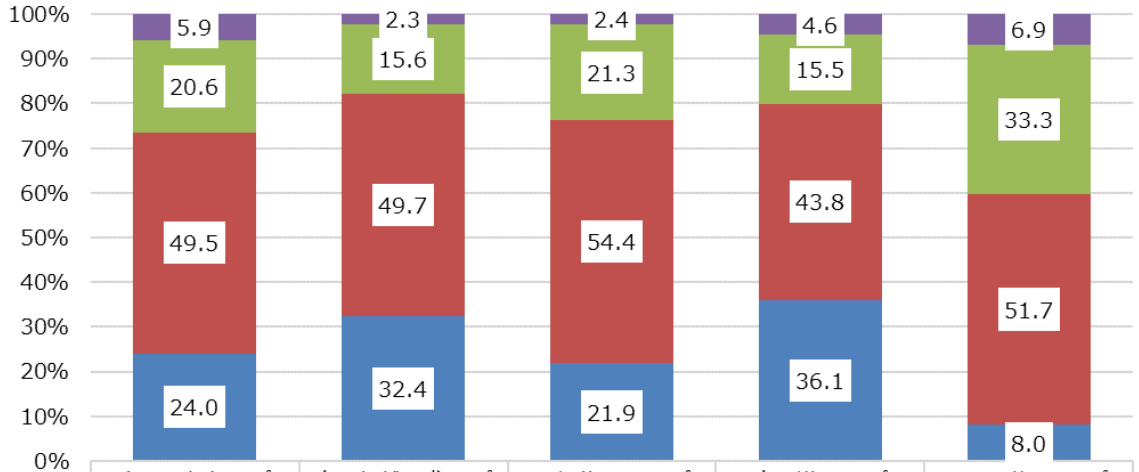
■生活価値観によるタイプ分類

「身の丈安定タイプ」	：社会貢献も考えず、周りの評判を気にせず、ただ安定志向なタイプ
「自己超越欲求タイプ」	：周りの評判を強く気にしながら、社会貢献を意識する一方、とにかく自分の可能性を高めたい、というタイプ
「消極的同調タイプ」	：突出した特徴はないものの、自身の安定さはさほど求めず、また周りの評判も若干気にしているタイプ
「自己満足タイプ」	：とにかく自身の暮らしに安定を求めている。その中で、周りの評判を気にせず、ふだんから費用対効果を求めたり、自分の可能性を試しているタイプ。
「その日暮らしタイプ」	：日々の暮らしに安定を求めず、自分の可能性を試すわけでもなく、費用対効果を意識するわけでもなく、社会貢献の意欲もなく、総じて日々を刹那に暮らすタイプ

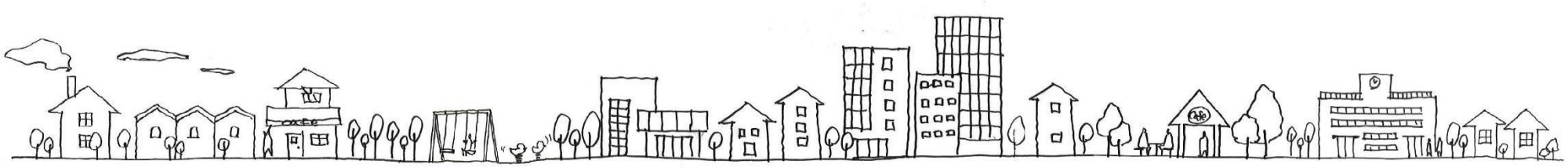
Q11　あなたは、現在お住まいの町田市に住み続けたいとお考えですか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	身の丈安定タイプ (n=204)	自己超越欲求タイプ (n=173)	消極的同調タイプ (n=338)	自己満足タイプ (n=194)	その日暮らしタイプ (n=87)
移住したい	5.9	2.3	2.4	4.6	6.9
どちらかといえば移住したい	20.6	15.6	21.3	15.5	33.3
どちらかといえば住み続けたい	49.5	49.7	54.4	43.8	51.7
住み続けたい	24.0	32.4	21.9	36.1	8.0



Copyright Machida City. All rights reserved.

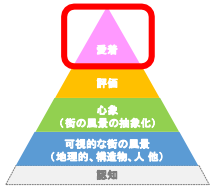
5．都市ブランド･アプローチ　7）街への愛着＝居住推奨意向　①４市民比較

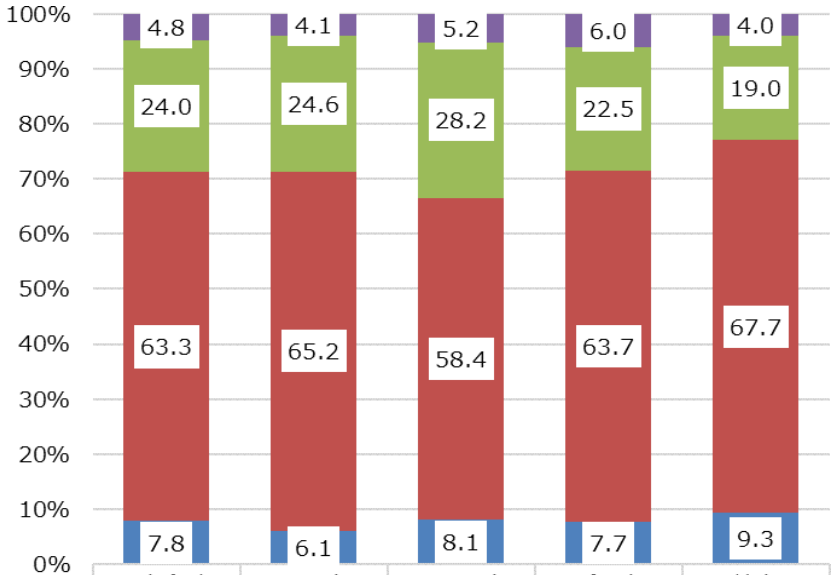
町田市民のおよそ７割が、町田市以外に住んでいる近しい人に町田市に住むことを『薦めたい』と考えている。

- 当地以外に住んでいる近しい友人に、当地に住むことを『とても薦めたい』という人は、町田市民を含む４市民のいずれにおいてもおよそ１割程度おり、差異はみられない。
- 『とても薦めたい』に『まあ薦めたい』を加えた『薦めたい』をみると、最も推奨意向が強いのは柏市民である。柏市民のおよそ８割の人が『（柏市に住むことを）薦めたい』としている。
- 町田市民では、所沢市民と同様におよそ７割が『薦めたい』としている。
- 八王子市民では上記３市と比べると、やや『薦めたい』という人の割合が低い。

Q12　あなたは、近しい友人などに○○市に住むことを薦めたいと思いますか。（ひとつだけ）
※○○市：町田市、八王子市、所沢市、柏市

【４市民比較】





	4市合計 (n=4,141)	町田市 (n=996)	八王子市 (n=1,321)	所沢市 (n=827)	柏市 (n=997)
まったく薦めたくない	4.8	4.1	5.2	6.0	4.0
あまり薦めたくない	24.0	24.6	28.2	22.5	19.0
まあ薦めたい	63.3	65.2	58.4	63.7	67.7
とても薦めたい	7.8	6.1	8.1	7.7	9.3

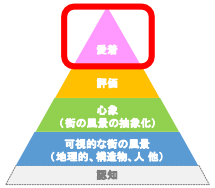
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　7）街への愛着＝居住推奨意向　②町田市民のみ･属性分析（性別）

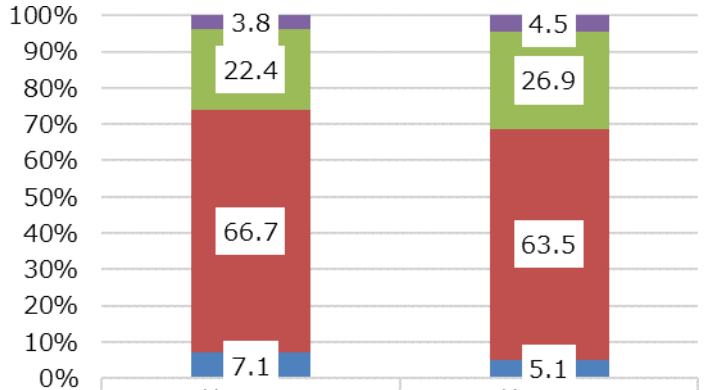
町田市民のうち、男性の方が女性よりも近しい友人に町田市に住むことを『薦めたい』ようだ。

- 町田市民による町田市に住むことを『薦めたい（『とても薦めたい』『まあ薦めたい』の合計）についてみると、やや男性の方が女性よりも推奨意向があるようだ。

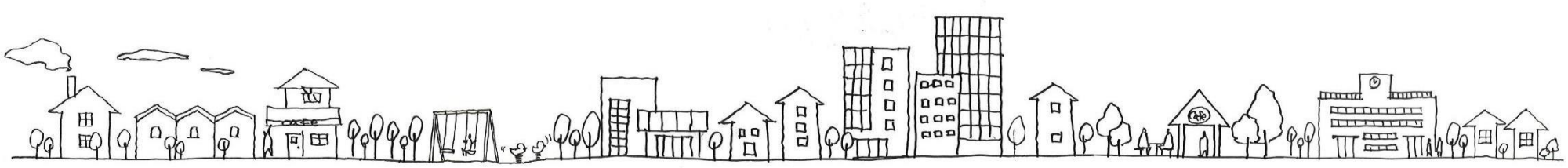
Q12　あなたは、近しい友人などに町田市に住むことを薦めたいと思いますか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	男性(n=505)	女性(n=491)
まったく薦めたくない	3.8	4.5
あまり薦めたくない	22.4	26.9
まあ薦めたい	66.7	63.5
とても薦めたい	7.1	5.1



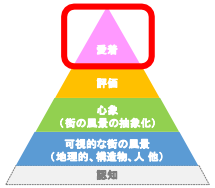
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　7）街への愛着＝居住推奨意向　②町田市民のみ･属性分析（年代別）

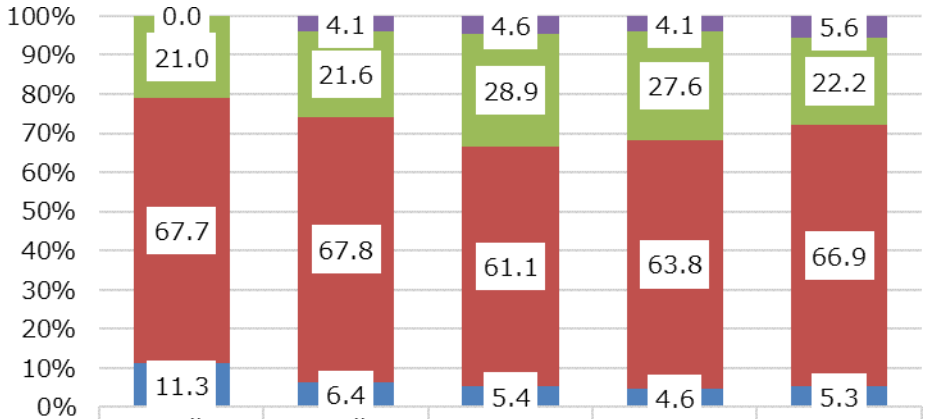
町田市民のうち、40代を底として20代と60代以上は近しい人に町田市に住むことを『薦めたい』意向がある。

- 町田市民の20代のおよそ８割は、近しい友人に町田市に住むことを『薦めたい（『とても薦めたい』『まあ薦めたい』の合計）』としている。
- 年代別の『薦めたい（『とても薦めたい』『まあ薦めたい』の合計）』をみると、40代の推奨意向が他の年代よりも低い。この40代と50代を”底”として、20代と60代以上の推奨意向が強いという”V字”状の傾向を示している。この傾向は、「年代」による特徴なのか、「世代」による特徴なのかは、経過観察する必要がある。

Q12　あなたは、近しい友人などに町田市に住むことを薦めたいと思いますか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	20代 (n=124)	30代 (n=171)	40代 (n=239)	50代 (n=196)	60代以上 (n=266)
まったく薦めたくない	0.0	4.1	4.6	4.1	5.6
あまり薦めたくない	21.0	21.6	28.9	27.6	22.2
まあ薦めたい	67.7	67.8	61.1	63.8	66.9
とても薦めたい	11.3	6.4	5.4	4.6	5.3

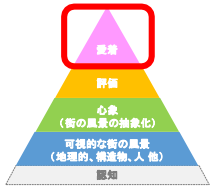
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　7）街への愛着＝居住推奨意向　②町田市民のみ･属性分析（末子学齢別）

近しい友人などに町田市に住むことを『薦めたい』という意向においては、ライフステージによる差異はみられない。

- 概ねライフステージ（末子の学齢）（サンプルサイズの小さい「末子は大学生、短大生、専門学生、予備校生」を除いて）にかかわらず、町田市民のおよそ7割の人が近しい人に町田市に住むことを『薦めたい（『とても薦めたい』『まあ薦めたい』の合計）』としている。

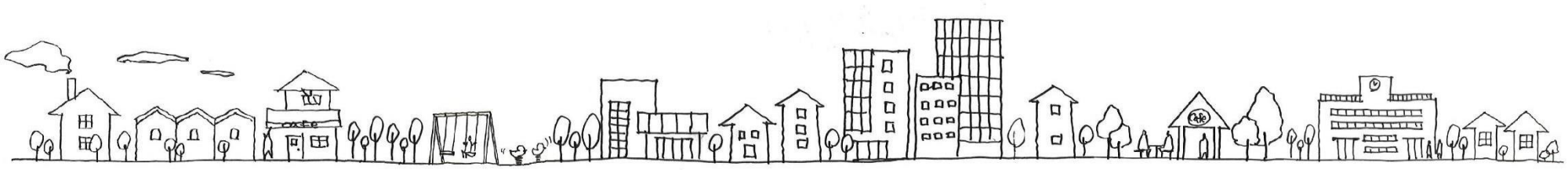
Q12　あなたは、近しい友人などに町田市に住むことを薦めたいと思いますか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】

	末子は未就学児（n=115）	末子は小学生（n=76）	末子は中学生・高校生（n=63）	末子は大学生、短大生、専門学生、予備校生等（n=48）	末子の子どもは社会人（無職含む）（n=274）
まったく薦めたくない	0.9	2.6	6.3	4.2	4.7
あまり薦めたくない	22.6	26.3	22.2	33.3	24.1
まあ薦めたい	66.1	67.1	65.1	60.4	66.4
とても薦めたい	10.4	3.9	6.3	2.1	4.7

※上図では、見やすさを考慮して「子どもはいない（n=420）」を省略している。



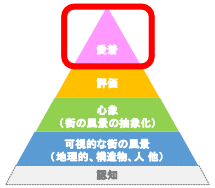
Copyright Machida City. All rights reserved.

５．都市ブランド･アプローチ　７）街への愛着＝居住推奨意向　②町田市民のみ･属性分析（夫婦就労状況別）

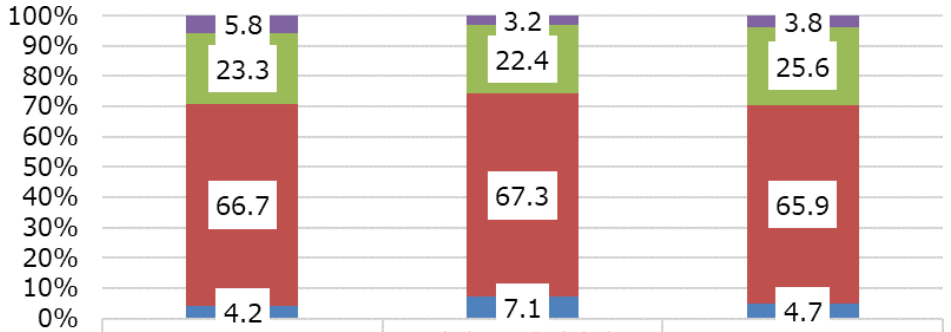
近しい友人などに町田市に住むことを『薦めたい』という意向においては、家庭の就労状況（共稼ぎ世帯または（夫が就労による）専業主婦世帯）による差異はみられない。

- 家庭の就労状況（共稼ぎ世帯または専業主婦世帯）にかかわらず、町田市民のおよそ7割の人が近しい人に「町田市に住むことを『薦めたい（『とても薦めたい』『まあ薦めたい』の合計）』」としている。

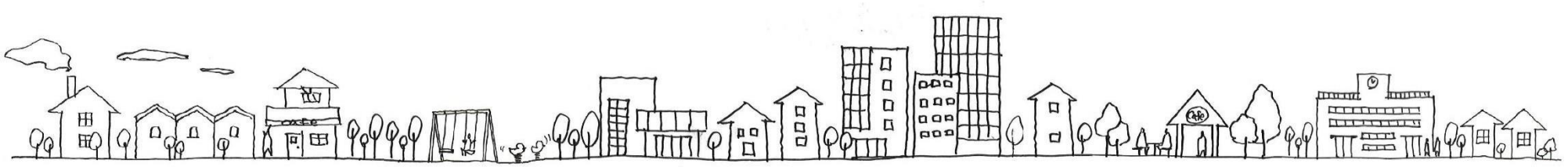
Q12　あなたは、近しい友人などに町田市に住むことを薦めたいと思いますか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	フルタイム･共稼ぎ (n=120)	フルタイム＆パートタイム･アルバイト共稼ぎ (n=156)	フルタイム就労＆専業主婦(n=211)
まったく薦めたくない	5.8	3.2	3.8
あまり薦めたくない	23.3	22.4	25.6
まあ薦めたい	66.7	67.3	65.9
とても薦めたい	4.2	7.1	4.7



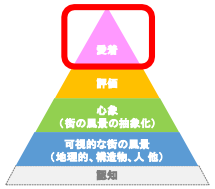
Copyright Machida City. All rights reserved.

5．都市ブランド･アプローチ　7）街への愛着＝居住推奨意向　②町田市民のみ･属性分析（居住年数別）

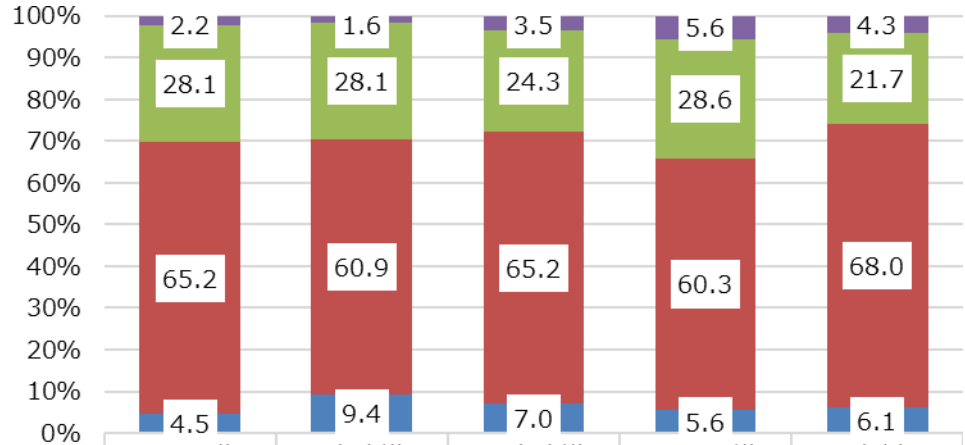
近しい友人などに町田市に住むことを『薦めたい』という意向においては、居住年数による顕著な差異はみられない。

- 概ね居住年数にかかわらず、概ね町田市民のおよそ７割の人が近しい人に町田市に住むことを『薦めたい（『とても薦めたい』『まあ薦めたい』の合計）』としている。
- ただし、居住歴が10年以上20年未満の人の推奨意向は、それよりも短い5年以上10年未満の人、あるいは長い（20年以上）の人と比べると、推奨意向がやや弱いといえる。

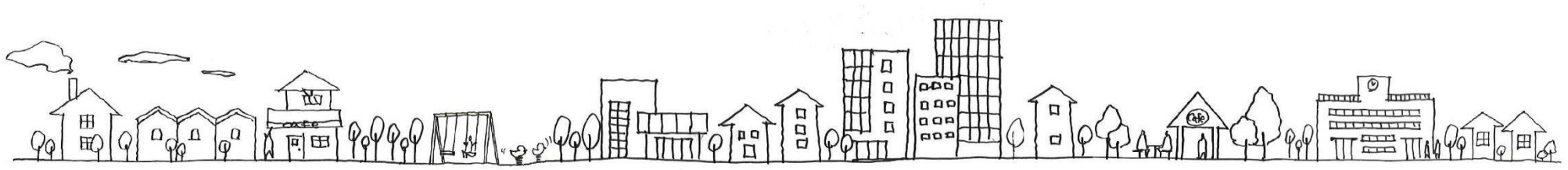
Q12　あなたは、近しい友人などに町田市に住むことを薦めたいと思いますか。（ひとつだけ）



【町田市民のみ】



	3年未満 (n=89)	5年未満 (n=64)	10年未満 (n=115)	20年未満 (n=234)	20年以上 (n=494)
まったく薦めたくない	2.2	1.6	3.5	5.6	4.3
あまり薦めたくない	28.1	28.1	24.3	28.6	21.7
まあ薦めたい	65.2	60.9	65.2	60.3	68.0
とても薦めたい	4.5	9.4	7.0	5.6	6.1



Copyright Machida City. All rights reserved.